



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月24日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7970 URL <https://www.shinpoly.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 義昭
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 平澤 秀明 (TEL) 03(5289)3716
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年11月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	40,286	△4.8	3,925	3.8	4,033	△3.4	3,069	3.0
2019年3月期第2四半期	42,306	8.5	3,780	8.9	4,177	14.8	2,980	16.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,087百万円(7.4%) 2019年3月期第2四半期 1,944百万円(△9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	37.78	37.77
2019年3月期第2四半期	36.53	36.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	103,666	82,063	78.9
2019年3月期	107,032	80,560	75.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 81,825百万円 2019年3月期 80,388百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年3月期	—	8.00			
2020年3月期(予想)			—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	△2.9	7,800	△4.3	8,000	△0.3	6,000	△0.8	73.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	82,623,376株	2019年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,377,441株	2019年3月期	1,377,302株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	81,246,007株	2019年3月期2Q	81,606,481株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会資料の入手方法)

当社は、2019年11月8日(金)にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社URLに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気拡大基調が続きましたが、保護主義的な経済政策に伴う通商摩擦が深刻化するなど、先行きに一段と不透明感が増しました。

米国では輸出の伸び悩みがみられましたが、雇用環境の改善が続き、個人消費も底堅く推移しました。欧州では内需は底堅さを維持しましたが、製造業を中心に成長鈍化が見られました。アジアでは全体として景気は底堅く推移したものの、中国において景気減速が継続しました。

日本経済は、企業の設備投資及び個人消費が緩やかに増加している一方、生産は横ばいの状況であり、輸出は弱含んだ状況が続いております。

当社グループ関連の事業環境につきましては、半導体業界や電子部品業界の市況が一時的に停滞しており、自動車関連分野の需要も前年並みに留まったため、全体として軟調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは国内外において主力製品及び新規事業製品の拡販に注力した営業活動を継続的に展開し、生産・供給体制の拡充を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は402億86百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は39億25百万円（前年同期比3.8%増）、経常利益は40億33百万円（前年同期比3.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億69百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 電子デバイス事業

当事業では、自動車関連入力デバイスを中心に前年並みの出荷が続きましたが、全体として売上げは横ばいとなりました。

入力デバイスは、自動車向け電装スイッチの出荷が安定的に推移し、薄型ノートパソコン用タッチパッドの出荷が伸び悩んだものの、売上げは前年並みとなりました。

ディスプレイ関連デバイスは、市況の悪化により需要が減少し低調に推移しました。

コンポーネント関連製品は、電子部品検査用コネクタが伸び悩んだものの、その他部品用途の製品が拡販でき、売上げは伸ばしました。

この結果、当事業の売上高は101億15百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は7億92百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

② 精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器やキャリアテープ関連製品の出荷が低調に推移し、全体として売上げは前年を下回りました。

半導体関連容器は、半導体業界の投資減速の影響を受けて300mmウエハー用工程内容器の出荷が低調に推移し、厳しい状況が続きました。

OA機器用部品は、主力のレーザープリンター用現像ローラの需要が伸びず、売上げは前年並みでした。

キャリアテープ関連製品は、高級スマートフォン用電子部品の需要が回復せず、売上げは振るいませんでした。

シリコンゴム成形品は、主力のメディカル関連製品が堅調に推移したものの、全体として売上げは低調でした。

この結果、当事業の売上高は163億54百万円（前年同期比11.4%減）、営業利益は26億3百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

③ 住環境・生活資材事業

当事業では、塩ビ関連製品の市場環境が非常に厳しい中、価格改定や生産効率化に努める一方、新規事業製品の拡販を推し進め、全体として売上げは横ばいとなりました。

ラッピングフィルム等包装資材関連製品は、一部製品の価格改定ができましたが、全体的に出荷が振るわず、売上げは前年並みでした。

塩ビパイプ関連製品は、市場競争が激しい中、一部の価格改定ができましたが、出荷量が確保できず、売上げは前年を下回りました。

機能性コンパウンドは、ロボットケーブル用が年初からの出荷低調が続き、自動車用の需要も減速したため、売上げは伸び悩みました。

外装材関連製品は、災害復旧特需の発生、新規取引先への拡販、価格改定、製品ラインナップ拡充により、売上げが伸びました。

新規事業製品のうち、導電性ポリマーは、自動車用電子部品用途が好調だったものの、スマートフォン用部品用途の需要が急減し、売上げは前年から落ち込みました。

この結果、当事業の売上高は96億65百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は3億63百万円（前年同期比92.0%増）となりました。

④ その他

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件、公共施設の内装物件の受注が増え、全体として、売上げは順調に推移しました。

この結果、その他の売上高は41億49百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は1億65百万円（前年同期比27.3%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月23日に公表いたしました2020年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,974	41,313
受取手形及び売掛金	20,228	18,929
電子記録債権	3,392	2,665
商品及び製品	6,316	6,903
仕掛品	1,557	1,338
原材料及び貯蔵品	3,236	3,297
未収入金	1,629	1,235
その他	383	238
貸倒引当金	△326	△292
流動資産合計	78,391	75,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,753	8,665
機械装置及び運搬具（純額）	5,805	5,333
土地	6,666	6,651
建設仮勘定	1,139	1,553
その他（純額）	1,741	1,706
有形固定資産合計	24,106	23,910
無形固定資産		
ソフトウェア	101	91
その他	70	74
無形固定資産合計	172	165
投資その他の資産		
投資有価証券	2,244	2,115
繰延税金資産	1,195	1,027
その他	923	818
投資その他の資産合計	4,362	3,960
固定資産合計	28,641	28,036
資産合計	107,032	103,666

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,399	10,579
電子記録債務	2,309	2,146
未払金	2,384	1,531
未払法人税等	1,049	624
未払費用	2,460	2,086
賞与引当金	1,336	1,434
役員賞与引当金	52	28
その他	2,277	1,233
流動負債合計	24,272	19,665
固定負債		
退職給付に係る負債	1,512	1,305
その他	687	632
固定負債合計	2,200	1,938
負債合計	26,472	21,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,718	10,718
利益剰余金	61,284	63,704
自己株式	△1,329	△1,329
株主資本合計	82,310	84,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	375	304
為替換算調整勘定	△2,260	△3,177
退職給付に係る調整累計額	△36	△31
その他の包括利益累計額合計	△1,922	△2,904
新株予約権	172	238
純資産合計	80,560	82,063
負債純資産合計	107,032	103,666

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	42,306	40,286
売上原価	29,289	27,498
売上総利益	13,016	12,787
販売費及び一般管理費	9,235	8,861
営業利益	3,780	3,925
営業外収益		
受取利息	163	163
為替差益	205	—
投資有価証券売却益	0	76
その他	47	75
営業外収益合計	416	315
営業外費用		
支払利息	11	9
為替差損	—	173
その他	8	23
営業外費用合計	20	207
経常利益	4,177	4,033
税金等調整前四半期純利益	4,177	4,033
法人税、住民税及び事業税	1,142	782
法人税等調整額	53	181
法人税等合計	1,196	963
四半期純利益	2,980	3,069
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,980	3,069

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,980	3,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△70
為替換算調整勘定	△1,070	△917
退職給付に係る調整額	△1	5
その他の包括利益合計	△1,036	△982
四半期包括利益	1,944	2,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,944	2,087

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,177	4,033
減価償却費	1,626	1,861
受取利息及び受取配当金	△180	△181
支払利息	11	9
為替差損益(△は益)	△106	144
売上債権の増減額(△は増加)	△2,023	1,713
たな卸資産の増減額(△は増加)	107	△557
仕入債務の増減額(△は減少)	△566	△1,785
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△76
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△195	△200
未払又は未収消費税等の増減額	422	430
その他	759	△1,045
小計	4,031	4,346
利息及び配当金の受取額	184	176
利息の支払額	△11	△11
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△976	△1,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,228	3,343
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△5	80
有形固定資産の取得による支出	△3,578	△2,873
その他	△31	195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,614	△2,596
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△491	△650
その他	27	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464	△650
現金及び現金同等物に係る換算差額	△454	△660
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,304	△563
現金及び現金同等物の期首残高	41,982	40,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,677	40,239

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,280	18,452	9,790	38,523	3,782	42,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,280	18,452	9,790	38,523	3,782	42,306
セグメント利益(営業利益)	696	2,764	189	3,650	129	3,780

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,115	16,354	9,665	36,136	4,149	40,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,115	16,354	9,665	36,136	4,149	40,286
セグメント利益(営業利益)	792	2,603	363	3,760	165	3,925

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。